

平成30年 3月23日



伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 平塚市北金目4-1-1
団体名 東海大学文学部広報メディア学科
水島研究室
代表者氏名 教授 水島 久光

平成29年 7月24日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	戦争体験インタビュー映像を用いたワークショップ事業
事業費総額	0 円
事業期間	自 平成29年 7月 24日 至 平成29年 9月 30日
実施場所	伊勢原市民文化会館 会議室
参加者数	18人(中学生6名、教員2名、体験者4名、大学生6名)
事業実施内容及びその成果	平成28年7月28日(金)14:00~16:00に実施。これまで収録した戦争体験者インタビューの映像と書き起こし原稿から、ディスカッション・ポイントを抽出し、大学生のファシリテーションのもと、語り合う場を設けた。本年度は、「中学生ヒロシマ平和の旅派遣団」の事前学習としてメンバーに参加を求め、地元でも戦争被害があったことへの知識や、世代間の差の大きさの中で戦争体験継承をどのように行うかを考える場となった。

2 添付資料

- (1) 伊勢原市協働事業収支決算書(第8号様式)
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

戦争体験インタビュー映像を用いたワークショップ事業
事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒ 企画の段階から ☐ 実施段階から ☐ その他 () 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒ 市民活動団体 ☐ 市 ☐ その他 () 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 意義〔インタビューの活用を行い、平和を希求する意識を深める。〕 4. 事業の目的は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目的〔 〕 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目標〔より多くの体験者と若い世代が体験を共有する。〕 6. 市民活動団体選定のプロセスは適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 7. 相互理解は十分だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕
実施段階	8. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 9. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 10. 進捗状況や情報を共有できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 11. 実施プロセスの記録は残せたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 12. 互いの特性を活かすことができたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕
終了後の段階	13. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 14. 目的・目標は達成できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 15. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 16. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 5 4 3 2 1 】 理由〔 〕 17. その他、気づいた点